

菊池東部水平社100周年記念集会

地域人権教育指導員 平井靖彦

菊池東部水平社100周年

4月18日に大津町生涯学習センターホールで、300人以上の参加者を迎え「菊池東部水平社100周年記念集会」が開催されました。コロナ禍で実施できなかった100周年をどうしても実施したいという思いが結集しての集会実施でした。

集会はまず泗水解放子ども会と旭志解放子ども会による水平社宣言朗読が始まりました。次に、熊本県人権教育研究協議会の村上秋成さん(広瀬)による「豊かな部落問題との出会いを」と題した講演、菊池郡市部落解放同盟各支部によるこれまでの歩みの報告、最後は参加者全員で「解放歌」を高らかに歌いました。

大正12(1923)年9月24日に大津町寶座で行われた菊池東部水平社創立大会の様子は新聞でも大きく報道されました。その当時の様子を、実行委員長はいさづの中で「部

落解放への思いが燎原の火のごとく広がり熊本へも届いたのでした」と表現されました。前年3月3日に開催された全国水平社創立大会から1年半後のことです。

水平社宣言

全国水平社創立大会で読まれた水平社宣言は「日本で最初の人権宣言」といわれています。また、被差別マイノリティ(社会の中で少数の立場に置かれた人々が自ら差別をなくすことを目的として宣言したことは世界でも類を見ないことでした。

この「水平社宣言」の中では「差別をなくす」ために必要なことを「人を尊敬すること」としています。そして、最後に「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と宣言されています。これは、部落差別をなくす営みの先には、誰もが差別されない社会をめざすという崇高な思想があるといわれています。

差別をなくす生き方を  
確かなものに

この水平社運動をきっかけに、多くの被差別マイノリティとされた人々が声を上げ、差別からの解放を願う運動が起こりました。そして、その運動は、現在も受け継がれ、差別からの解放への思いが燎原の火のごとく広がり続けています。

100年が過ぎても、いまだに部落差別をはじめとして、多くの差別が存在しています。改めて「水平社宣言」を読み、先人たちの熱い思いに触れました。

「差別は差別する側の問題である」ことを心に刻み、私たち自身の「差別をなくす生き方」をより確かなものにしていきましよう。



菊池東部水平社100周年記念集会

【問い合わせ先】菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450  
(月)～(金)午前10時～正午、午後1時～4時(福祉課)

「税金未納」詐欺に注意

国税庁や税務署などを名乗り、「税金が未納です。期日までに納入しないと法的手段(差押えなど)を取ります」と連絡してくる詐欺の相談が増えています。

【事例①】「税務署からのお知らせ」や「e-Tax(電子的納税申告)」からメールが来て「未納の税金があります。期日までに納入しないと、差し押さえなどの法的手段を取ります」という内容でサイトに誘導し、○ペイなどの電子決済で納入する方法を案内してきた。

【事例②】市役所を名乗って、住民税の支払いを行うよう案内するメールが送信されてきた。特定の決済サービスを利用して住民税の納付を求める内容だった。

【対応策】  
▼身に覚えのないメールは開かない。  
▼安易にメール内のURLにアクセスして個人情報を入力しない。

▼電子マネーアプリといった送金機能を使った金銭の要求に応じない。  
▼官公庁の正式な連絡先に電話をして確認する。  
▼一人で判断せず、家族や警察に相談する。

国税庁や税務署などから、メールにURLを記載した案内を個人に送信することはなく、税金の納付の求めや差押えに関して、メールで連絡をすることもありません。十分にご注意ください。

出前講座をご活用ください!

消費生活センターでは、最新の消費者トラブル事例の紹介や対処法について説明する無料の出前講座を実施しています。市内在住・在学・在勤で10人以上の団体を対象に、1時間程度で消費者トラブルでの悪質商法の事例、対処法や注意すべき事項の情報提供などを行います。土日や夜でも対応しますので、気軽にご依頼ください。

産官学金でまちづくり(8)

【問い合わせ先】  
市長公室 ☎0968(41)4488

市では、市民サービスの向上や地域活性化を目的に、企業や大学、各種団体などと包括連携協定を締結しています。連携事業による取り組みを隔月で紹介しています。

◆三井住友海上火災保険(株)

グローバルな保険・金融サービスの事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えていくことを経営理念としています。保険本来の補償の提供に加え、事故の未然防止や発生後の早期復旧といった補償の前後を通じ、一貫したサービスを提供しています。

併せて、地域課題の解決に資する活動にも取り組み、地域の成長・発展に貢献することを目標に、社員一丸となって日々取り組んでおります。

菊池市とは、令和3年11月に包括連携協定を締結しました。SDGs推進や防災・減災、地域産業の振興、地域の安全・安心の向上など、幅広い分野で連携を行っています。



SDGs フェスティバル出展の様子

昨年度は、菊池市職員を対象としたSDGs研修を実施し、持続可能なまちづくりに向けた理解促進にも取り組みました。

交流の絆(2)

【問い合わせ先】市長公室 ☎0968(25)7252

近年、本市と交流事業を実施している都市を紹介します。

◆岩手県遠野市

遠野市は岩手県の南東部に位置し、柳田國男の『遠野物語』で知られる民話のふるさとで、家と馬小屋が一体化した曲り家など、昔ながらの原風景が残っています。ホップの栽培面積は全国屈指で、ビール関連のイベントが開催されています。

菊池一族が全国に散らばった際に遠野市で居を構えたといわれています。市民の約25%は「菊池(地)姓」です。このことから、平成10年に旧菊池市と友好交流協定を締結。平成18年、本市の合併一周年記念式典で、改めて友好都市を締結しました。

隔年で市民交流団を派遣。市民劇「遠野物語ファンタジー」の見学やまちづくりについて視察しています。



曲り家

深掘り! 菊池川流域日本遺産エピソード

【問い合わせ先】文化課 ☎0968(41)7515

伝説と文化を訪ねて(第4回)

◆【装飾古墳】  
装飾文様が意味するもの  
古代人の精神世界

熊本県の北部、阿蘇の北外輪山から有明海へと西流する菊池川。その一帯には、全国的にみても、たいへん多くの装飾古墳が分布しています。その数は130基を超え、特に玉名平野、菊鹿盆地周辺に集中しています。

県における装飾古墳の出現は4世紀の終わり頃のことです。泉の国へ鳥となって飛んでいくという、死後の世界観を表しているとも考えられています。

6世紀初頭の塚坊主古墳(和水町)に始まり、6世紀前半のチブサン古墳(山鹿市)、大坊古墳(玉名市)など、石屋形の内壁に円文や連続三角文・菱形文などの幾何学文様を彩色で描く装飾古墳がみられるようになります。こうした文様は、悪霊や魔物などを避ける魔除けの意味があったものと考えられています。

